

日本特別ニーズ教育学会 2025 年度 中間集会のご案内
(一次案内)

日本特別ニーズ教育学会 2025 年度中間集会は、北海道教育大学釧路校にて対面で行います。遠隔の配信はありません。午前中は学会理事会主催のシンポジウム、ランチセッションとして研究委員会主催の若手チャレンジ研究会（卒論・修論デザイン発表会、報告者は学部・専攻科・修士課程学生限定）、午後は現地企画として「当事者の『声』から見えてくる特別支援教育・特別ニーズ教育」をテーマにシンポジウムを企画しています。

日本特別ニーズ教育学会 2025 年度中間集会準備委員会
委員長 小野川文子（北海道教育大学釧路校）
副委員長 菊地信二（幕別町保健福祉部）
事務局長 田中雅子（北海道教育大学釧路校）

Ⅰ. 開催日時・場所・参加申し込み

①日時:2025 年 6 月 28 日(土曜日)9:30~16:00

②参加費:会員 1,000 円、非会員 1,000 円、学部学生・高校生無料 「若手チャレンジ研究会」発表者は 1,000 円

③申し込み期間:

・以下、Peatix サイトから申込:6 月 23 日(月)締め切り

<https://snechukan2025in946.peatix.com/view>

・「若手チャレンジ研究会」は別途、Google フォームにて申込:5 月 2 日(金)締め切り

<https://www.sne-japan.net/news/4352/>

・抄録原稿提出:5 月 20 日(火)締め切り

④会場(対面開催)

北海道教育大学釧路校(北海道釧路市城山 1-15-55) 教室棟 A 4階 403 講義室

会場アクセス

A:空路(本数が少ない)<https://www.hokkaido-airports.com/ja/kushiro/access/>

①羽田空港~釧路空港:JAL、ANA が 1 日各 3 本

②札幌からは、新千歳空港 or 丘珠空港~釧路空港 釧路空港:連絡バスで MOO 下車(約 50 分)、会場まで徒歩 15 分

<https://www.hokkaido-airports.com/ja/kushiro/access/transportation/#bus>

B:陸路 JR 札幌駅～JR 釧路駅 JR 特急「おおぞら」(4 時間以上かかります) 釧路駅:タクシー(約 8 分)

※6 月の北海道は旅行シーズンのため、航空券・宿泊費の高騰が予測されます。お早めの予約をお勧めします。

※詳細は北海道教育大学釧路校交通アクセスをご覧ください。

<https://www.hokkyodai.ac.jp/kus/access/>

2. プログラム

9:00～ 受付開始

9:30～ 9:45 オープニングセッション

9:45～11:45 学会理事会主催シンポジウム「特別ニーズ教育学史の研究」

12:00～13:30 ランチセッション「若手チャレンジ研究会」

13:45～ 15:45 準備委員会企画シンポジウム「当事者の『声』から再考する特別支援教育」

15:45～16:00 クロージングセッション

3. 学会理事会主催シンポジウム(9:45～11:45)

テーマ「特別ニーズ教育学史の研究」

シンポジスト

- ① 小野川文子(北海道教育大学釧路校):特別ニーズを有する子どもの生活教育・生活支援と特別ニーズ教育の 30 年—寄宿舎教育を中心に—
- ② 能田昂(秋田大学):阪神淡路大震災・東日本大震災・COVID-19 パンデミック等と特別ニーズ教育の 30 年—「子ども被災・救済の特別ニーズ教育」創成の課題—

4. 若手チャレンジ研究会(12:00～13:30)

大学学部学生、特別専攻科学生、教職大学院学生、大学院修士課程を対象に、卒業論文・修了論文・課題研究・修士論文等の研究デザイン(研究経過)に関する発表を募集します。(通常の研究発表は「自由研究発表」にお申込みください)発表資格は本学会会員であることですが、大学学部学生・特別専攻科学生に限り、非会員の方でも応募できます。なお、個人研究としての発表となりますので、指導教員が連名となる必要はございません。

①発表申し込みについて

発表を希望する方は、サイトより中間集会参加申し込みの手続きをした上で、5月2日(金)までに、若手チャレンジ研究会用の Googleform よりお申込みください(学会ウェブサイトの「お知らせ」に若手チャレンジ研究会要項を掲載済:<https://www.sne-japan.net/news/4352/>)。発表者には、「A4 サイズ 2 ページの発表抄録」(5 月 20 日(火)締切)を求めます。提出方法等の詳細は、発表申し込みをされた方に別途お知らせいたします。人数、発表者は 3,4 名(最大 4 名まで)を予定しています。

②発表について

発表時間は各々15分、その後のコメンテーターからのコメント・質疑応答が10分、計25分です。各発表のタイトル・内容に合わせて、内容や当該研究方法に詳しいコメンテーターより助言を受けることができます。

適切なコメントを受けるために、当日資料を6月17日(火)までに提出を求めます。提出方法等の詳細は、発表申し込みをされた方に別途お知らせいたします。発表抄録の提出、発表、質疑応答の完了をもって、発表の成立といたします。発表の際にパワーポイントを使用される方は、パソコンをご持参ください。プロジェクターとの接続端子はHDMI端子となりますので、ご注意ください。発表当日、資料を配布される方は40部の持参をお願いします。

5. 準備委員会主催シンポジウム(13:45~15:45)

テーマ「当事者の『声』からみえてくる特別支援教育・特別ニーズ教育」

シンポジスト

シンポジストについては、若手教員、発達障害等の当事者を予定しています。詳しくは後日、配信いたします。

6. 問い合わせ先

北海道教育大学釧路校 発達教育実践分野 特別支援教育研究室 小野川文子

e-mail: onogawa.fumiko@k.hokkyodai.ac.jp